

要 項

大 会 要 項

1 大会名称

秩父宮杯 第 66 回関東大学アイスホッケー選手権大会

2. 主催

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟

3. 協賛

茨城県アイスホッケー連盟 神奈川県アイスホッケー連盟 千葉県アイスホッケー連盟

4. 後援

公益財団法人日本アイスホッケー連盟 毎日新聞社 スポーツニッポン新聞社

5. 期間

平成 30 年 4 月 7 日 (土) ～ 6 月 24 日 (日)

6. 会場

ダイドードリンコアイスアリーナ

TEL : 042-467-7171 〒 202-0021 東京都西東京市東伏見 3-1-25

7. 大会事務局

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟

TEL : 042-467-8282 FAX : 042-468-2131 〒 202-0021 東京都西東京市東伏見 3-1-25

8. 表彰式

A グループ 平成 30 年 4 月 29 日 (日) 最終試合終了後 17 時 30 分予定

B グループ 平成 30 年 6 月 10 日 (日) 最終試合終了後 18 時予定

C グループ 平成 30 年 6 月 24 日 (日) 最終試合終了後 18 時予定

各チーム、キャプテンを含む 5 名以上参加すること。(この際、ユニホーム・チーム旗・スケートシューズを持参すること)

9. 入場料

一般 1,000 円 高校生・中学生・小学生 500 円

10. 大会費

参加費 A・B・C グループ 42,000 円 試合費 (1 試合当たり)・・・試合数に応じて負担する。

A グループ 20 分ゲーム 55,000 円 B・C グループ 15 分ゲーム 45,000 円

※ 参加費は各グループの第 1 ゲーム前日までに大会口座 (16 項) に、

試合費は各グループの大会終了日までに振り込むこと。

11. 参加チームおよびグループ分

平成 29 年度関東大学アイスホッケーリーグ戦の結果によるランキングにより

1 位から 14 位までを A グループ、15 位から 30 位を B グループ、31 位から 47 位までを C グループとする。

但し、大会参加大学数によりグループ内チーム数変動する。

* A グループ 14 校、B グループ 15 校、C グループ 6 校

12. 大会参加申し込み

指定様式に記載し、平成 30 年 2 月 22 日（木）迄に電子メールにて提出する。

13. 参加資格および登録

※ 選手および役員は、平成 30 年度の（公財）日本アイスホッケー連盟登録完了済であること。
（登録料支払い済みを原則とする）

※ 選手の追加登録は、A グループは 4 月 6 日、B グループは 5 月 10 日、C グループは 6 月 7 日までとする。
以降、選手の追加登録は認めない。

※ 選手登録人数が GK 1 名以上を含む 8 名に満たなかったチームは、大会に限り参加資格を失うものとする。
但し、ランク 37 以降については選手登録が 6 名以上（GK 1 名を含む）で参加資格を持つ。

14. 表彰

各グループ 1 位・2 位・3 位を表彰する。

個人表彰は各グループから最優秀選手賞 1 名を表彰する。

また、A グループよりベスト 6 及び最優秀新人賞 1 名を表彰する。

15. 組合せ抽選会

(1) 日時：平成 30 年 3 月 8 日（木）19 時～

(2) 会場：ダイドードリンコアイスアリーナ内 2 階会議室

(3) その他：（公財）東京都アイスホッケー連盟専務理事及び大学監督・スタッフ
立会いのもと、A グループの公開抽選方式で組合せを決める。

16. 大会口座

銀行名 東京三協信用金庫 東伏見支店（店番 016）

口座名 公益財団法人東京都アイスホッケー連盟

口座番号 0100388 預金種目 普通預金

※ 必ず団体名で振り込んでください。

17. その他

大会参加チームは傷害保険に加入し、保険証券または保険申込者
（加入者がわかる明細）のコピーを必ず提出すること。

* 提出日、A グループは 4 月 7 日、B・C グループは 5 月 12 日までに、連盟事務所に提出する。

1.試合方法・試合時間

Aグループ

全試合 正規 20分×3P 練習 10分 休憩 12分

- * 1・2回戦までは、トーナメント方式で試合を行う。
ホームチームの設定は、トーナメント表の左側を仮ホームチームとし、ベンチは本部席より向かって左側のベンチに入る。
- * 2回戦勝利チームは、決勝リーグ戦に臨み最終順位を決定する。
ホームチームの設定は、ランキング上位チームを仮ホームチームとし、ベンチは本部席より向かって左側のベンチに入る
- * 2回戦敗退チームは、5位・8位トーナメント戦に臨み最終順位を決定する。
ホームチームの設定は、トーナメント表の左側を仮ホームチームとし、ベンチは本部席より向かって左側のベンチに入る。
- * 1回戦敗退チームは、9位から14位決定戦に臨む。
ホームチームの設定は、ランキング上位チームを仮ホームチームとし、ベンチは本部席より向かって左側のベンチに入る
その後トーナメント戦に臨み最終順位決定とする。
ホームチームの設定は、トーナメント表の左側を仮ホームチームとし、ベンチは本部席より向かって左側のベンチに入る。

★ Aグループでの第3ピリオド終了時、同点の場合、両チーム3名ずつのゲームウイニング・ショットにより勝敗を決定する。

さらに同点の場合はサドンヴィクトリー方式による両チーム1名ずつのタイブレーク・ショットにより勝敗を決定する。

但し、決勝リーグ戦での第3ピリオド終了時同点の場合、3分間のインターバル後、3対3のサドンヴィクトリー方式による正味5分間の延長ピリオドを行う。

尚且つ同点の場合は、両チーム3名ずつのゲームウイニング・ショットにより勝敗を決定する。

さらに同点の場合はサドンヴィクトリー方式による両チーム1名ずつのタイブレーク・ショットにより勝敗を決定する。

★ Aグループ決勝リーグでの、勝ち点及び順位決定方法について

| 60分勝 | 延長 GWS | 延長 GWS | 60分負 |
|------|-----------|-----------|------|
| | 勝 | 負 | |
| 3 | 2 | 1 | 0 |

B・Cグループ

全試合 正規 15分×3P 練習 10分 休憩 1P-2P間5分 2P-3P間12分

★ 第3ピリオド終了時、同点の場合、両チーム3名ずつのゲームウイニング・ショットにより勝敗を決定する。

さらに同点の場合はサドンヴィクトリー方式による両チーム1名ずつのタイブレーク・ショットにより勝敗を決定する。

Cグループ

*参加チームが6チームのため、2つのグループに分け、1回戦総当りの予選リーグを行う。
予選リーグでのホームチームは、ランキング上位チームとする。
その後の、リーグ戦成績にて、最終順位決定戦を行う。

*リーグ戦に於ける勝ち点について

| | 勝点 |
|------------|----|
| 4 5分 勝 | 3 |
| 同点 (GWSの勝) | 2 |
| 同点 (GWSの負) | 1 |
| 4 5分 負 | 0 |

さらに決しない場合には

- ① 勝点多い順
- ② 当該校の対戦成績
- ③ 当該校同士の得失点差の大なるもの
- ④ 当該校同士の総得点 ÷ 総失点の大なるもの
- ⑤ 全試合の得失点差の大なるもの
- ⑥ 全試合の総得点 ÷ 総失点の商の大なるもの
- ⑦ 平成 30 年度ランク上位のもの

★各グループの試合で、10点差以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降のゲームタイムはランニングタイムとする。

- ① 点差が縮まった場合でも継続する。
- ② 次の場合は時計を止めるものとする。
 - a) 得点時一旦止めるが、電光掲示板入力後、直ちにスタートさせる。
 - b) 反則発生時一旦止まる。次のフェイスオフでスタートさせる。
- ③ 反則時間終了時にプレイが止まっていたら、その選手は次のフェイスオフでパックがドロップされるまでペナルティベンチから出られない。
但し、Aグループ決勝リーグ及びBグループの決勝戦・第3位決定戦はランニングタイムを適用しない。

2. 競技規則

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟の定めるローカルルールを除いては、原則として国際競技規則ならびに(公財)日本アイスホッケー連盟の定めるローカルルールによるものとする。

3. 補助規則 (今大会東京都アイスホッケー連盟で定めるローカルルール)

- 1) 連盟未登録選手が出場した場合、その試合に限り没収試合とし、不戦敗(スコアは0対15)とする。
- 2) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。
- 3) プレイヤーはバイザーまたはフルフェイスマスクを着用しなければならない。
バイザーは鼻が全て覆われるものでなければならない。

- 4) プレイヤーはマウスガードを着用する。
- 5) 危険な用具を着用している選手は試合に出場できない。
試合前の整列時にレフェリーが両チームのプレイヤーの用具着用状態を必ず確認する
試合中、正しく防具を着用していないプレイヤーに対し、警告なしに1回目の違反より直ちにミスコンダクト・ペナルティを科すものとする。
尚、これは相手チームからのアピールでは受け付けず、レフェリーの判断によるものとする。
- 6) 練習中については、ゲーム・スーパーバイザーがヘルメットやストッキング等の防具を正しく着用するよう監督し、是正させる。
- 7) 試合の際に役員（監督・コーチ等）のうち1名は必ずベンチ入りすること。不在の場合は試合放棄とみなし、不戦敗（スコアは0対15）とする。役員とは大会要項13項のチーム役員登録された者を指す。
※ 学生は役員として登録することはできない。
- 8) ベンチにはGK2名・プレイヤー20名の計22名、役員6名までが入れる。
尚、外国籍を有する選手は3名以内とする。
- 9) タイムアウトは全グループの全試合、各チーム1回使用できるものとする。
- 10) オールメンバー表にはGK1名を必ず記載する事。また、オールメンバー表は練習開始45分前までに必ず提出すること。（ドアマンも記入する）
- 11) 試合当日（試合開始時）試合を遂行するのに必要な最低人数（GK1名以上を含む選手8名）に満たないメンバーしか集まらなかったチームは、その試合を放棄したものとみなし、不戦敗（スコアは0対15）とする。
ランク37以降については（GK1名を含む選手6名）満たないメンバーしか集まらなかったチームは、その試合を放棄したものとみなし、不戦敗（スコアは0対15）とする。
- 12) 仮ホームチームは、本部席より向かって左側のベンチに入ること。
- 13) 仮ホームチームはユニフォームの色を選択できる。但し、対戦する両チームのユニフォームが同系色の場合は、仮ホームチームがユニフォームを着替える責任を有する。
- 14) ホーム・ビジター制度は、全グループ・全試合において適用する。
ホームチームの決定は、試合開始前のパックスにより決定する。
その際仮ホームチームがパックスの表裏を選択できるものとする。
- 15) スティック及び用具の計測は、1試合につき各チームそれぞれ1回ずつ行えるものとする。
- 16) ピリオド終了時、両チームが同一通路を使用してリンクより控室に戻る場合、出入り口に近いベンチのチームから先に速やかに退場する。
その際、両チームが同時にならないよう、必ず一方のチームから退場する事。

尚、後のチーム（氷上にいるプレイヤー及び GK）は、一度自チームのベンチに戻り、レフェリーの指示により退場することとする。

先のチームが故意に退場を遅らせたり、後のチームが故意に自チームのベンチに戻らなかった場合は、レフェリーの判断により違反したチームに対しベンチ・マイナー・ペナルティーを科すものとする。

17) ベンチ入りするドアマン、学生スタッフ、学生マネージャーは試合中のベンチ内においてフルフェイスマスク装着ヘルメットを着用すること。

18) ベンチ入りスタッフは必ず、ID を装着する。

注意事項)

事前の連絡もなく、代表者会議、オフィシャルクリニック、閉会式、試合、オフィシャル当番及び遅刻、欠席、棄権及び連盟規約違反をした場合、学生事業委員会ならびに審議委員会にて協議し、ペナルティーを科す。